

内部評価結果調書（施策評価 11）

施策名	若者の育成
-----	-------

担当部局	担当部局長の氏名
教育委員会事務局	吉岡喜代和

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針	(政策)	IV 生涯学習都市						
計画項目	(施策)	③ 若者の育成						
施策目的	(何を対象に、どのようにすることを目的としているか)	京丹後市の将来を担う青少年が地域での体験活動やボランティア活動、伝統文化の継承等を通して地域への関心を高めるとともに、集団活動や地域の人々との交流により心豊かな人間形成の場づくりを進める。併せて、青少年の関係団体への支援を通して、青少年の健やかな成長を見守り育てる活動を推進する。 また、京丹後市で生まれ育った若者の成人としての門出を祝う場として式典を開催する。						
めざす目標	青少年の学校外活動の充実をめざします	地域子ども教室数	8箇所	H16	9箇所	H21	12箇所	H26
	若い力が活きるまちづくりをめざします	10代の若者のまちづくりへの参画機会	12回	H16	17回	H21	24回	H26
※参考 後期基本計画 めざす目標	青少年の学校外活動の充実をめざします	地域子ども教室数	8箇所	H16	9箇所	H20	12箇所	H26
	若い力が活きるまちづくりをめざします	10代の若者のまちづくりへの参画機会	12回	H16	17回	H20	24回	H26

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業	事務事業評価の結果						担当課
		H21決算額 (千円)	内、 一般財源 (千円)	目標 達成 度	効率 性	事業内 容の 方向性	事業規 模の 方向性	
1 青少年の健全育成	1 青少年教育事業	3,787	3,694	▲	○	維持	拡大	社会
	青少年を対象とした体験活動や映画会、京都工芸繊維大学との連携による理科わくわく体験教室などを実施							
2 まちづくりへの若者の参加促進	2 成人式開催事業	1,683	1,683	○	○	維持	維持	社会
	新成人の門出を祝うため、京都府丹後文化会館で式典を開催 成人式出席者 622人(出席率83%)							
計		5,470	5,377					

CHECK

評価	①施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか	
	▲	理由 青少年を取り巻く社会環境を考慮し、地域、家庭、学校との連携による青少年の育成と地域で子供を守り育てる活動機会の拡大及び各種青少年団体の組織への支援が必要である。 なお、「青少年教育事業」は、中学生以下を対象とするものが多く、高校生以上の青年に対する取り組みが、参加してもらえるかということもあって弱い。今後どうしていくか課題である。
	◎ 予定以上に進んでいる	
	○ 予定どおり進んでいる	
	▲ 少し遅れている	
	× 大幅に遅れている	
②事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか		
○	理由 青少年の体験活動や地域で子どもを守り育てる活動の拡大はまだ不十分であるが、施策の目的達成に向けた事業及び組織の活動支援は実施することができ、事業の内容はおおむね有効であった。	
◎ 有効であった		
○ おおむね有効であった		
▲ あまり有効でなかった		
× 有効でなかった		
③事業の優先度 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、今後、優先度の高い事業と、優先度の低い事業は何か ※経常的及び任意的な事業の中から選出		
優先度 高い	理由 継続的に体験活動事業を実施するとともに、青少年を守り育てる関係団体への支援が必要である。	
1 青少年教育事業		
優先度 低い	理由 式典を実施するための最低限の事業である。	
2 成人式開催事業		

ACTION

改善	今後の施策展開をどうするか 市内で暮らす若者が地域社会の一員として、まちづくりに積極的に参加し、主体的に活動できる組織づくりを進めていく。 また、青少年に対する体験活動機会を提供する「青少年教育事業」のほかにも、地域公民館や地域の団体による事業などが実施されているが、これらの事業を検証するとともに、青少年教育の課題を整理し効果的な事業を実施する。 加えて、成人式については、社会状況を踏まえ、開催方法等について見直しを検討する。
----	--

平成22年度 事務事業評価

整理番号
20-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	05	01
細事業名		青少年教育事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	島貫 博志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ③ 若者の育成 施策方針 1 青少年の健全育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 体験活動の実施や関係団体への支援を通して、京丹後市の将来を担う青少年の心豊かな人間形成の基礎づくりを目的とする。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 様々な体験活動の実施と放課後や休日における子どもの居場所づくり

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 青少年を対象とした体験活動(キャンプ、自然観察、陶芸、木工)や映画会、京都工芸繊維大学との連携による理科わくわく体験教室の実施した。21事業(51回);延べ2,089名が参加 また、青少年健全育成会(6団体:640千円)、児童合唱団(4団体:852千円)、地域子ども教室(9教室:1,500千円)などへ活動支援を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 様々な体験活動や地域住民との交流による青少年の健全育成 青少年の各種育成団体への支援による組織の活性化

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	金額(千円)
	8	172	国庫支出金	
	9	94	府支出金	人権啓発補助金 93
	11	176	起債	
	13	17	分担金・負担金	
	14	179	その他	
	19	3,149		
			一般財源	3,694
事業費合計		3,787	合計	3,787

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 各種青少年団体の育成や組織体制の再編など停滞している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 各種青少年団体の育成や組織体制の再編など停滞している。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 各種青少年団体の育成や組織体制の再編など停滞している。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 青少年の指導にあたる講師や安全管理員をボランティアでお世話になるなど必要最小限の予算で対応している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 青少年の指導にあたる講師や安全管理員をボランティアでお世話になるなど必要最小限の予算で対応している。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 青少年の指導にあたる講師や安全管理員をボランティアでお世話になるなど必要最小限の予算で対応している。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 継続的に体験活動事業を実施するとともに団体への支援が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 継続的に体験活動事業を実施するとともに団体への支援が必要である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 継続的に体験活動事業を実施するとともに団体への支援が必要である。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 青少年を取り巻く環境を考えると地域、家庭、学校との連携による青少年の育成と子どもの居場所づくりの充実が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由 青少年を取り巻く環境を考えると地域、家庭、学校との連携による青少年の育成と子どもの居場所づくりの充実が必要である。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由 青少年を取り巻く環境を考えると地域、家庭、学校との連携による青少年の育成と子どもの居場所づくりの充実が必要である。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
20-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	04	01
細事業名		成人式開催事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	土出 政信

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ③ 若者の育成 施策方針 2 まちづくりへの若者の参加促進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市の新成人を一堂に集め、成人としての門出を祝う場として式典を開催する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 成人式の出席率 80%以上

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 新成人の門出を祝うために、市内新成人が京都府丹後文化会館に一同に会して式典を開催した。積雪の少ない3月に式典を開催するなど、参加される方に配慮している。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 成人式出席者 622人(出席率83%)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	8	1,243	国庫支出金		
	11	41	府支出金		
	12	163	起債		
	13	15	分担金・負担金		
	14	221	その他		
事業費合計		1,683	一般財源		1,683
			合計		1,683

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 出席率は、年によって若干の変動はあるものの80%に達している。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 出席率は、年によって若干の変動はあるものの80%に達している。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 出席率は、年によって若干の変動はあるものの80%に達している。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 必要最低限の事業費で開催しているため、コスト削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 必要最低限の事業費で開催しているため、コスト削減は難しい。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 必要最低限の事業費で開催しているため、コスト削減は難しい。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
○ × 削減の余地があった				

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 少子化社会のなかで、次代を担う新成人への期待は大きく、市として社会人の一員となる若者の門出を祝うことは重要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 少子化社会のなかで、次代を担う新成人への期待は大きく、市として社会人の一員となる若者の門出を祝うことは重要である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 少子化社会のなかで、次代を担う新成人への期待は大きく、市として社会人の一員となる若者の門出を祝うことは重要である。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 新成人の門出を祝う伝統的な事業であり、今後も継続して実施する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 新成人の門出を祝う伝統的な事業であり、今後も継続して実施する必要がある。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 新成人の門出を祝う伝統的な事業であり、今後も継続して実施する必要がある。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	
事 業 名	05 青少年教育事業			決算書
細 事 業 名	01 青少年教育事業			P.340
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
3,787千円	3,956千円	169千円	95.7 %	

【主要な事務・事業及び成果の概要】

京丹後市の将来を担う青少年を育成するために、体験活動やボランティア、伝統文化の継承など地域活動への参加促進を図るとともに、その活動を通じ様々な人とふれあう中で、心豊かな人間の基礎づくりを目的として各種事業を実施した。

○子ども体験事業	629 千円
・社会教育課【2事業5回 延べ参加者413人】 理科わくわく体験事業、夏休み子ども映画会	507 千円
・峰山地域公民館【2事業16回 延べ参加者286人】 夏休み子ども体験教室（キャンプ、陶芸、木工、チャレンジウォーク）、防災キャンプ	11 千円
・大宮地域公民館【3事業5回 延べ参加者122人】 夏の自然体験教室（天体観察・ツリーハウス見学）、キャンプ、チャレンジウォーク	10 千円
・網野地域公民館【1事業1泊2日 参加者19人】 ウィークエンド事業（キャンプ、日食観察、カヌー、博物館見学等）	2 千円
・丹後地域公民館【2事業3回 延べ参加者66人】 夏休み体験事業（陶芸）、キャンプ	21 千円
・弥栄地域公民館【3事業5回 延べ参加者163人】 やさか探検隊（キャンプ、自然観察）、スターウォッチング、料理教室	57 千円
・久美浜地域公民館【3事業5回 延べ参加者177人】 ふるさと再発見未来塾（環境学習）、キャンプ、餅つき体験	21 千円
○意見、主張発表大会 丹後・久美浜地域【発表25人】	9 千円
○青少年育成団体への補助【6団体】	640 千円
○少年少女児童合唱団への補助【4団体】、交歓演奏会開催補助	1,009 千円
○地域子ども教室への補助【9団体】	1,500 千円

【事務事業評価】

青少年を取り巻く環境を考えると、地域、家庭、学校との連携による青少年の育成と子どもの居場所づくりの充実が必要であり、継続的に体験活動などの事業を実施するとともに各種青少年関係団体への支援が必要である。

【主な特定財源】

府補 人権問題啓発事業費補助金	93千円
-----------------	------

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	
事 業 名	04 成人式開催事業			決算書
細 事 業 名	01 成人式開催事業			P.340
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
1,683千円	1,770千円	87千円	95.0 %	

【主要な事務・事業及び成果の概要】

京丹後市の新成人を一堂に集め、成人としての門出を祝う場として式典を開催した。

日 時 平成22年3月21日（日） 午後2時開会

会 場 京都府丹後文化会館

対 象 平成元年4月2日～平成2年年4月1日生まれの市内在住者及び
市内各中学校卒業生【748人】（男391人／女357人）

出席者 622人（出席率 83.2%）

内 容 式 典：記念式典、二十歳の主張等

記念品：記念写真、書籍「新社会人応援マニュアル（オトナの難易度）」

アトラクション：丹後吹奏楽団・京丹後市少年少女合唱団協議会

○報償費 1,243 千円

報償金（出演謝金） 140 千円

報償金（司会謝金） 35 千円

報償物品（記念品） 1,068 千円

○需用費 41 千円

○役務費 163 千円

○委託料（バス運転委託料） 15 千円

○使用料及び賃借料（会場借上料） 221 千円

【事務事業評価】

少子化社会のなかで次代を担う新成人への期待は大きく、京丹後市で生まれ育った若者が成人となる門出を祝う事業であり、今後も継続して実施する必要がある。

【主な特定財源】

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

平成22年度 京丹後市行政評価委員会 施策評価結果（案）

施策名	若者の育成	担当部局
		教育委員会事務局
「PLAN」		
1 施策目的について		
<p>施策目的は、おおむね明確に示されており、わかりやすい。</p> <p>ただし、複数の目的があるので、目的の優先順位を示したほうが、更に明確である。</p> <p>また、めざす目標について、「10代の若者のまちづくりへの参画機会」という指標があるが、もう少し具体的な事業を示したほうがわかりやすく、またカウントしやすい。</p>		
「CHECK」		
2 施策の達成度について		
<p>将来の京丹後市を担う高校生以上の青少年の参加が少なかったため、内部評価結果（少し遅れている）は、おおむね妥当である。</p>		
3 事業構成の有効性について		
<p>内部評価結果（おおむね有効であった）は、妥当である。</p> <p>ただし、「まちづくりへの若者の参加促進」という施策方針に係る構成事業が「成人式開催事業」のみであるため、その他にも事業を実施するなどの工夫が必要である。</p>		
4 事業の優先度について		
<p>優先度が高い事業・低い事業として選択された事業については、それぞれ選択された理由も納得でき、内部評価結果はおおむね妥当である。</p>		
「ACTION」		
5 今後の施策展開について		
<p>今後の施策展開は、おおむね的確に示されているが、次の点を踏まえ、より効果的な展開を図るべきである。</p> <p>(1) 前述の「2 施策の達成度」で示した、高校生以上の青少年の参加が少ない理由は、参加できる事業自体が少ないためである。よって、この年代を対象とした意向調査を実施した上で、効果的な施策展開を図るべきである。</p> <p>(2) 前述の「3 事業構成の有効性」で示したことに取り組むべきである。</p> <p>(3) 町域を超えた交流事業や都市との交流事業は、子どもを成長させる効果的な事業であり、交流事業を経験した子どもが成長したとき、ボランティアとして支援者になるなど有意義な事業として期待できる。地域の協力を得ながら積極的に推進するべきである。</p> <p>(4) 地域子ども教室等の事業は、土日の開催であり、スポーツ少年団活動と重なり、参加できない子どもも多いため、平日での事業実施に努め、できるだけ多くの子どもたちに参加してもらえるよう工夫するべきである。</p>		
その他		
<p>地域子ども教室は、この施策の主要事業であると思われるため、内容及び成果がわかるよう、評価票及び資料（決算附属資料）をもう少し具体的に作成するべきである。</p>		